

凌霜ラガー通信

理事会報告

1993 (H5) 9月3日 於: 凌霜クラブ

1. 総会 開催について

本年度 (H. 5) クラブ総会を、下記通り行なり。

日時: 10月13日 (水) 18:30~

場所: 大阪凌霜クラブ 大阪駅前第一ビル11F

*このように行ないますのでO.B各位の多数ご参加を期待します。

2. 8/16時点での、本年度の予算・実績状況

(森内理事)

A) 収入について

主源である会費の受納は未だ168人 (168万円) に過ぎず、このままでは繰越金を次第に取り崩して行く事に成ってしまいます。

*未納O.B諸氏からの納入を、更に望みます。

納入方法、振り替え口座、後記します。手続きは簡単です。読んだ今すぐご処置下さい。

**自主納付依頼が然程功を奏せざる場合には勤務先へ直に頂戴に参上すべし、以前はそうしていたのだから。との意見も出た。後輩に取っても“会社訪問の良い口実策”かも。

B) 支出について

現役補助項目については、会報前号で公表した通り80万円を、合宿も行なわれた事でもあり、100%満額支出した。その他の費目の支出については特記すべき要無き消費率で推移している。

3. 現役監督から (葉室理事)

A) 春・夏の現役戦績及び、秋本番のリーグ戦・三商大戦スケジュール発表。(後記)

B) 苦心談

多雨、多人数、が因で想いとは逆の方向へ行っている。フィットネスもそうで返って緊張感を削ぐアイドリング・タイム化する恐れ有る。雨中のシル田練習でも、イマイチ甘い。ハッパとして“タックル行かざる者、試合に出すまじ”と宣言した。今のままだと、潜在力は大きいがチーム力は昨年より下。

4. O.B戦・夏合宿の次第 (西松理事)

5. その他

A) ゴルフ・コンペ

11月頃か 詳細案内は、永井氏 (S.31) から追って。

B) H.5 後期 会報 発行予定 浜田 (S.33)

10月お手元配布を目途とし、事業予定内容に添い、より判りやすく、愛読されるような記事を加えるように努力します。以上

=当日参集者=

國領会長、田中 (S.12) 井沢 (S.30) 小林・西松 (S.31) 浜田 (S.33) 葉室 (S.43) 森内 (S.56)

計 報

土居 通頭様 (S.36卒) がH.5.9.8にお亡くなりになりました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成5年春 現役チーム練習試合結果

H5.4.10.	立命大	27-12	神戸大	×
18.	京都大	19-42	〃 (a)	○
	〃	12-43	〃 (b)	○
25.	大産大	24-26	〃 (a)	○
	〃	50-0	〃 (b)	×
29.	凌霜	22-28	〃	○
H5.5.1.	関学大	7-24	〃 (a)	○
	〃	17-0	〃 (b)	×
3.	広島大	44-12	〃	×
8.	大教大	17-14	〃	×
9.	商船大	0-74	〃	○ (近国)
16.	京教大	27-7	〃	× (〃)
	摂南大	17-7	〃	×
30.	甲南大	10-27	〃 (a)	○
	〃	5-5	〃 (b)	
H5.6.5.	大外語	8-41	〃	○
6.	大商大	47-14	〃	×
13.	関西大	5-43	〃	○

平成5年夏 現役チーム練習試合結果

H5.8.17.	立正大	29-5	神戸大 (a)	×
	〃	41-0	〃 (b)	×
	〃	29-12	〃 (c)	×
8.18.	筑波大	48-5	〃	×
	追手門	29-7	〃	×
8.19.	中京大	12-21	〃 (a)	○
	〃	31-7	〃 (b)	×

平成5年度 リーグ戦及び三商大戦 スケジュール

予 定 日 時	対戦相手	球 技 場
10月10日 (日) 11:00~:	関西大	関西大G
17日 (日) 13:30~:	大商大	東大阪G
24日 (日) 15:15~:	摂南大	〃
31日 (日) 14:00~:	関学大	関学大G
11月14日 (日) 11:00~:	大教大	関西大G
21日 (日) 15:00~:	大産大	〃
28日 (日) 10:00~:	京都大	〃
未 定	三商大	一ツ橋大学

会費納入お願い

我々の会です。O.B間の連絡と、後輩支援とが円滑に行なえる為に、今年も貴方からの会費納入を宜敷くお願いします。

年会費 10,000円

- 住友銀行 天満橋支店
普通預金 №957978 凌霜ラガークラブ
- 三和銀行 大阪駅前支店
普通預金 №27557 凌霜ラガークラブ
- 郵便局
大阪 6-302152 凌霜ラガークラブ

H5.O.B戦/レセプション状況

4月29日ミドリの日、曇、前夜雨で重ババ。現役沢山いる。2.3.4年65人、新部員20人との事、O.Bも結構来ているぞ。山本神大教授(S29:現部長)西松氏(S31)、岸野佳良子(H3:リクルート)氏、他イキノイのが30人以上そろっている。13:40.K.OFF(30分ハーフ)始まるやいなや森内氏(S56)中本氏(S57)小松、石崎、遠藤、藤井など昭和卒の各氏を筆頭に、H3組、H5組を主力にしたO.B側が、下級生主体で構成して来た現役側を翻弄し、17-7で前半戦を好リードした。

ハーフ・タイム = 知ってましたか? =

それにしても、新規びっくらコクのは、いまだきの練習試合では、選手がイタムと、プレー中에서도すかさず衛生兵がグラウンドの内迄来てくれて応急処置している事でしたよ。水かてショルダーバッグのポリタンクノズルからチュッ、チュッと出てきよまんねんで。近代的やなー、合理的やなー、おんばひがさやなー、魔法の薬缶よ何処。

後半開始 サスガ現代っ子、現役側は、早々5分で背15が、15分後には背5が右ポスト直下へ、又20分後には、左ポストそばへ背18がトライ。3本共好地点なので簡単にゴールなった。ベスト・メンバーに組変えたかな? O.B側は10分後の左隅 1トライ丈の5-21となり、トータル22-28とヒッキリ返されてノーサイド。ディフェンスに手を抜いたのがガンになり、独走を許しGイージーポジションにトライさせ過ぎた科が出た。

ま、それも新庄、松井を育て上げる手で前半はムチ、後半はアメだったと言う事にして置くか。

ノーサイド交歓会

15:00~岸野佳良子氏(H.3)、遠藤氏(S.60.新婚さんかな、若奥さん同伴)、小松、石崎両氏(S.59.共に4才の可愛いお嬢ちゃん連れ、石崎氏はエクアドル赴任から帰朝早々の由。)等O.Bと家族、現役併せて120人ともなると壮観ですな。

山本泰督氏(S.29.神大教授、現クラブ部長)の挨拶を皮切りに和気霽々の雰囲気で行なわれた。あいさつの中で山本氏は「来年定年退職するので後任により良き部長を樹てて退く積もり。」だと表明された。現役諸君よ、赤ヘル球団ではないが一層奮起セニャー・なりますマーテ。

山口元監督(S.36)は、前半圧倒したO.B組の主力を構成していたH3組、H5組の貢献・健闘を賞揚すると共に、その代表として伊藤尚氏(H.5)をとらえ「卒業してから、場面展開が、よー見える様になったなー。」等と誉め讃えていた。

先輩・現役 各人からの 一事一言発言の後、新入部員20人の自己紹介・抱負表明があり“商神綾成す翼を揚げて”の120人大輪合唱エールで締めた。山本部長さんご苦労様でした、有難う、好後任人事選定頼まっせ、O.B連よ来年もっと家族ぐるみよっけ集って、もっと多勢会費払うてくれて、現役よ果敢にタックル・セービング行けよ シル田対策忘れなや、と願いつつ。

サンパウロ・トウキョウ・発

記・松村竜男特派員 (S34 Capt
現、富士孔宣役員/Akasaka.TKY.JP)

此7月に、ブラジルの南米銀行で活躍された、勝屋岩雄氏(S32 Capt.在伯36年)が帰朝された歓迎会を、竹村氏(S33卒)の設営で小出氏(S32卒)野川氏(S33 Capt)及び小生等 在東近似世代O.B有志が、赤坂に在り、美酒土佐鶴と豪快な さわち料理 で有名なお店にて集い、久々に一席旧交を暖め色々懐古談しきりだった。

第一話題 つろーてシンドかった合宿

S30年代は部員が少のーて、練習時の対面配備も満足には行かんかった。しゃーないから耐久力つけよと長野県営Gではトップ100回の反復やったけど さすがあの時は ウトウタな。

ケドお陰で近体で優勝でけたやんか。

大商、甲南、商船、大市大、神戸商大なんかはメジャなかつたもんな。

第二話題 三商大戦での想出

S31年、秋、松本Captのもと一路東征。大袈裟など、笑わんとってや。未だシンカンセンはおろかS34になってやっと東京日帰り可能の旧幹線超特急“こだま”が運行されるずっと前の事で、どんなに急いでも片道8-10時間掛かったんですよ。それ程東京は遠かったんや。大学の歳になる迄米原以東へは行った事無いのんがぎょーさんいよった時代のこっちゃん。まさに大遠征や。東京-新宿經由で国立へ乗り込んだ。

真っ黒けの土、だだっぴろい関東平野、ちっこい田舎の停車場前から延びているポプラ並木のずーっとその奥にポツンと本館らしい建物が霞んで見えるだけ。回りは見渡す限り一面のハタケ。

ここぼんまに東京か? 札幌農大ちゃうけ? と 言う感じやったな。宿所にあてがわれたおんぼろ学寮での冬の夜は、京者さえたじろく冷気で更けた。はたして翌朝、ローム層の表土全面が5センチも突き上げられている。シモバシラや。

隣のサブコートで黙々と一心にシュート練習してる慎太郎ガリの奴がいよったな、あいつがバイクでそれを踏み砕く爽やかな音、破片が朝日でダイヤモンドダストみたいに輝いてた光、覚えるやろ。あの感覚をちゃんとした文にでけてたらあいつより先に芥川賞授賞やったんやな。

それにしても、シモバシラは関西チームにとってはゴテやったな、試合の始まる頃には解けだして、シル田で わややった。軽かったスクラムは関東流の押しをこらえようと頑張るのだが、下地がドロドロで踏張り切れず、随分ズルズル後退させられたな。平素、雨の日の練習をチンタラやってたらあかんな、あいつ等はシモバシラが立つかぎり、晴れの日でも下地シル田状態に慣れとうからな。頼みの優位バックスでもボールがドロベチャのためからのハンドリングミスがでたな。

ドリブル セービング シル田スクラム を馬鹿にしてたらあかんな。シューズも深い目がええ

“リーグ戦に向けて・現役の決意”

死中の活路

V. Capt/Bks. leader

佐 藤 真

秋本番に向けての、夏練習・合宿・練習試合と努力した積もりであったが、必ずしも良い結果が得られたと言う訳ではなく、本番迄に改善すべき点が多く見つかった。例えば、マイボール・チャンスはそう多くは無いのは予知している……そこへ良い球を出してくれた……好機到来ノと言ふその時にB.Ksのミスが出て数少ないチャンスをもものにすることが出来ずひいては、苦闘するF.Wsを奮いたたすサポートも出来ない……のよゆうなケースが目立ったのだ。

帰神後の練習力点としては走り込み、などの基本的・体力的なもの、に加えミスを無くす事。確実に点を取る為のサインプレーの徹底。個個人のタックル強化と、全B.Ksラインとしての組織ディフェンスの見直し等とした。

本番対戦相手を事前分析してみると、体格的には殆ど相手側優位データなので我がF.Wsの苦闘はまだまだ続くであろうと予測される。

苦闘を予測される状況の中で競り勝つには、折角獲得してくれた球はミス無く有効に繋ぐ事、B.Ks自体が相手攻撃を早いプレッシャーで潰す事から生れるワン・チャンスを着実にものにしておくことである。此の意識をB.Ks全員が持ち、それをプレー中に具象化出来た時に試合は接戦化出来る。接戦にさえ持ち込めれば何としても勝利するぞ。そして更により上位を目指して行く。

指なし軍手も準備いるで。

等々積もる話は、まだまだ此処に書き切れぬ程咲き、その中味も若さで一杯でしたが、何時の間にかみんな60才近くに成り、凌霜ラガーのメンバーでも上から数えた方が早い年齢になっている訳で、今更の如くその年月の過ぎる速さをブラス作曲になる大学祝典序曲の一節「いざや我らの若き命を共に楽しまん 共に寿がん 歎びの春とく過ぎ行くを」を合唱しつつ実感しました。

さて その他の勝屋氏ぶらじる事情談

サッカー王国ブラジルではJリーグの三浦選手のような人がゴロゴロいると言う話(ラグビー王国で無いのが残念ですな、ラトウ・アルシンドみたいなのを神大・南検の特待留学生扱い出来たらおもしろいのね。)

お金持ちは下町に住み、貧乏人は山手に住む日本とはまるで逆のような面白い話も出ました。

近々ブラジル訪問予定おありのクラブメンバーの方は、是非勝屋さんをお訪ね下さい、大歓迎ということでしたよ。勝屋さんの新連絡先は

ブラジル国 サンパウロ市

セナドール フェジヨー街 69番5階

プロゾトールレス倉庫株式会社

Tel: 011-37-4485 です。

当会メンバー諸氏のご健勝と現役陣今秋本番での頑張りを期待して。 リポーター: M. T

乾坤一擲

F.WS 一同

例年オフ明け夏練突入早々はバテル者が多発するので、今年から新しい試みとして、オフ中も週一回の特練を行なった結果スムーズに夏練に入れたので、やった丈の成果は得られたと信ずる。が、夏合宿では怪我人が多出し練習試合に於いても予め想定していた様な試合運びが出来なかった。又、体のデカイ相手に対し場合のスクラム・ラインアウト弱点を痛感させられた。対応策として帰神するやいなやF.W陣で布施工業高校へ河村先生を訪ね、スクラム・ラインアウトについての強化指導を受けたり、対面が仲間同志での練習よりも他者と組む方がより実践効果が上がるとの観点から大市大F.Ws陣に他流合同練習を申し入れ・乗り込み・やって見て・河村効果が着実に自分達のものに成りつつあるとの手応えを体得した。

リーグ戦開始は目前に迫った。残余わずかの日時も能う限りの対応練習を反復しいざ本番は、乾坤一擲、悔い無き戦をするぞ。

課題・改善・挑戦 3回生・副務・C.T.B

山 邨 嘉 教

“Aリーグ昇格”を旗印に、春・夏・合宿・と頑張ってきた、春には“怪我人は少なく、成績も広島・大教に不覚を取ったものの、まあそこそこで推移”夏合宿を万全にと合宿前特訓新採用して入ったのだが、“怪我人多出・内容惨散でリーグ戦に向けてのチーム全体に亘る課題山積”状況だった。私個人から見た課題は次のようです。

F.Wsでは、スクラム強化・ラックでのスイープそしてカバーディフェンス。

B.Ksでは、当たり密集中でのボディコントロール・個人技に頼り過ぎのアタック。だと思った。チームとしても勿論この事には気が付いており、更に個々人の欠点・弱点修正をも加えた改善練習に励んでおり、チーム状態も少しずつ良く成ってきている今日この頃である。

本番開幕目前の今、初戦の対・関大戦で小柄ながら、F.Wsが走り回って生きた球を供給し、B.Ksは個人技に頼るので無くぶ厚いフォローでのトライを獲って、勝利し、その勢いに乗ってリーグ戦を勝ち抜いて行こうと皆心に誓っている。

―― 乞必読・次号掲載

「関東・クラブ・ラグビー事情」の予告――

長年本誌の面倒見続けて、この程再び新日鉄G社東京勤務になった、山下 弘氏(S.33卒)から山田洋次か深田祐介ばりの愉快な事情が寄せられました。

“風願の寅さん”で有名な葛飾柴又の帝釈天の裏から江戸川の河原に降りて“矢切りの渡し”をギッチラコ・ぎっちりこ(今は船外機でブルルーンですけど)を向う岸に渡って、途中“野菊の墓”の前を通り30分ほど歩いたとこにこの1月から住むことになりました。関東に来たんで秩父宮や国立でラグビーがみられると楽しみにしてますネン。不取敢葛飾でクラブチームのゲームがあると言うのん聞いて見に行きましたんヤ。ほんの一部紹介。あと次号ご期待乞。

私達のマネージャー時代……

H. 2 卒：原 佳子 (竹中工務店勤務)

—キック・オフ—

N.H.Kの連続ドラマ、“ひらり”——高野連・春の大会での始球式には、望まれて堂々(デモナカタカ)の晴舞台を踏める、森山文相でさえ、大相撲の世界での或る公式行事には、参列を拒否される、と言う典型的な男性社会の中における現代っ子の女性マネ、を描いたドラマ。——に因んでの一文を会報へ寄せよ、とのご依頼ですが、キャリア・レディがあんな時間帯でのドラマを視ている訳はないでしょう!

(☆御もったもな、ご指摘と存じます。が、このままですと、このマッチに敗けて終まいます。現役新チームのバックスリダー・武田君が今年の主題とするように、広報子も又、一歩でも前で相手を倒し我が田に水を引入れなくてはなりません。柳眉を逆立てられる事承知の上で、お言葉を返します。このドラマは8:15amだけでなく12:45pmにも放映されていました。いかにキャリアといえども飯ぬき迄して御奉公摺る事は有りません、元来こんな事とか、ゴルフ・コンベの前日に特打ち迄して、競りあがると言うやり方はラグビー発祥の地英国ではアン・フェアだとされています。お食事はドラマを視るなりモーツァルトを聞きつつなりして楽しく優雅に摂ると、世界一不味い事で定評の、イギリス食ですら美味しいと、林 望氏も言っていますから。)

—ハーフ・タイム・アップ—

“ひらり”は視ていませんので、それ以外の事。マネージャーとしての私を、振り返ると、二年生時から四年生時迄試合、合宿、練習と何時もクラブ・メンバーとの行動を共にし、部室の掃除、備品の整備、スコア記録、応援等々こちらは一所懸命クラブとの同一化を計ろうと努力するが結果は、“男性集団に、今一つ溶けこむ事は出来なかった”との想いがのこり、もっと、物おじせず、体当たりでブッカッテいれば、次々と想出話種豊富な一時期だったろうにとの想いは残りますね。

(☆O.B/O.G会ではそんな疎外感を抱かれる事は無いと申し上げます。同期を中心に上3期~下3期位はお互い顔も気心も、一般社会で出来た面識、付き合い、とは全く違った気張らないものとして既に知合っているからです。誰がタムシ・チンキで飛び上がりながら下敷きでバタバタしてたかも。今秋の総会——10月13日の予定です——に是非出席され、旧交を暖められるよう勧めます。世に言う総会屋的な爆弾発言されても、会場から追出される心配は、此処では無いと断言します。)

—ノー・サイド—

ところで、此の4月3日に思い出の地神戸にて同期卒の橋本 泰氏(H. 2卒)と結婚致しました。学生時代の反省を基に彼の良きマネージャー役を一生の仕事にしたいと思っております。末筆ながら我々が所属したチームの更なるご発展を心から願っています。

H. 2 卒 原 佳子 拝

(☆ヤレヤレ、大段ヒラ論争して男社会の壁打破方法を云々してたけど、おちはそー言うことでしたか。されど気を取直して、「それは、それは、お目出度う御座います。汚職、浮気をさせず、健康で確り稼ぎ、凌霜会費1.5人分必ず払わせる、そんな妻に貴女はなれる。」をお慶びの言葉といたします。)

H. 1 卒：但馬ゆり子 (ミノルタ・カメラ勤務)

(☆H. 4結婚され、現姓は市川)

昨年、結婚しましたが、現在もまだ仕事を続けていますので、N.H.Kの朝のドラマは視る暇がありません。ひらりを離れて稿をすすめます。

私が大学を卒業してもう丸4年が経ちました。大学の4年間と同じだけの時を会社に入ってから過ごして来たことになりましたが、やはり大学の4年間というものは何物にも替え難い貴重な時間だったことを痛感しています。

あの頃は毎年3月半ばからクラブの練習が始まり、春先の、少し肌寒い、でも天気の良い日などは、無性に六甲台のグラウンドが恋しくなったものです。こんな時、同期の萬 由美子マネと「今日は行こうよ。」と、誘いあわせて行ったものでした。今はどうなんでしょうか、

私達が現役の頃は、マネージャーの仕事は、対外試合の時のものが主であり、普段の練習の時は毎日参加するわけではなく、時々行って部室の片付け、備品の修理、そして差し入れをする、といったのんびりしたものでした。練習の中には入りこませてもらえず、「男のスポーツ」を感じたものです。だから仕事としては楽な反面、部員の中に溶け込めない寂しさを、いつも感じていました。

しかし、試合の時には皆と一緒にグラウンドに降り立ち、ドキドキしながら試合の行方を見詰めていたことを懐かしく想いだします。

殊に、秋のリーグ戦の初戦の時など、前の晩から緊張していましたね。試合の当日、皆に会うと、いかつい部員達が「昨日は緊張して、寝られへんかった。」などと話していたりして、意外なような、けれど、皆で同じことを感じているのだ、との一体感をこの時確りと、とらえ得たものでした。

私達が3回生の時、はずかしながら、Oリーグとの入れ替え戦に出たことがありました。その試合が引き分けてノーサイドとなり、Bリーグ残留が決まった時、みんなで涙を流したことが昨日のこのように思い出されます。涙なんて縁遠いようなたくましい部員達が、嬉し泣きしたのです、勿論私も自然に涙しました、感動でした。

私にとっては、そういう世界をその輪の中で、視たり、共に感じたり、貴重な体験の連続でした。

しばらく観戦から足が遠退いていましたが、今年には是非機会を作って、試合を見に行かなくっちゃ、と思っています。

後輩の皆さん方のご活躍を、期待しています。

(☆寄稿へのお礼と、少々時期ずれですが、ご結婚おめでとうゴザイマス。雅子さんはオーケストラが編成出来るほど、とのことですが、ゆり子さんはそんなにがんばらなくて、精々ラグビー1チーム分くらいを目標にされたら宜しいのでは。☆寄稿者のオ相手は当部H. 1卒の市川義人氏・住銀・です。尚、最近住所変わった由。

新住所：〒546 大阪市東住吉区西今川3-17-13

☎ 06-703-9459

☆メンバーの皆様のご健康と、ご発展を祈って・

広報子・敬白)

夏期菅平合宿に参加して思ったこと

元監督・S36卒 山口 秀 夫

8月16日早朝に大阪を立ち屋頃菅平に到着、19日夕刻迄、ゲーム中心のこれに参加した。何時からの事か、此処数年夏合宿は二次制を採用。一次は練習及び部内ゲームのみ、二次を対外ゲーム中心としている。今年も、飯山で8月12日～15日の一次を行なってから、相手校を求めて菅平へ入ってきたものの今年、この期間中全国的な天候不順の影響で四日間共、夜間は豪雨・昼間も曇時々雨の所へ火山灰性の当地土壌と相俟って全域泥濘と化し、主に午前中に行なり事前練習も儘ならない内にゲームに突入せざるを得無かった又ゲームでは、例えば対中京大戦の如く、神大の一番不得手とするフォワードの力勝負に持ち込まれ苦戦を強いられたばかりか、種々のフォーメーションプレーによりゲインラインを切った一次ポイントからの早い球出しと言う神大の基本戦法の練習にはならず、現役諸君にとっては収穫の少ない不満の残る合宿であったと思います。とは言え今後の好指針になるものとして、対筑波大戦があった。彼らがBチームかCチームだったか定かでないが殆ど体格の変わらぬ相手が、新ルールに良く対応しており、今シーズンからはこの様なゲームが多くなるであろうと思われる理詰めオープンプレー、即ち神大が目指すプレーで来てくれたため、負けはしたもののグラウンドが良ければもっと点差が開いたと思われる——自分達のチームに何が欠けているかを身を以て体得し得る良いゲームだった。

合宿のスケジュールについてふれると、早朝から練習又はゲーム。朝昼兼用の食事。午後のゲーム。夕食後にはビデオを視ながらA・B・C、3チームに別れて行なり反省会。此等は此処数年変わっていない。他チームを見ても同じ様にやっているらしいからこの点については善い。

もうヒトヒネリ要るなと気づいたのは今年も約80名の現役諸君が参加していたが、一次合宿を含めての課題であった「多人数が因で、個人当りの運動量と技術向上の為のプレー機会がどうしても不足し勝となり、結果としてチーム力のベースたる個人の基礎能力向上が遅々として進まぬ状況が未だ尾を牽いているな。」という点であり、この問題を解決する工夫が必要と痛感した次第です。

前述の通り不満の残る合宿ではあったが、幸いBリーグのリーグ戦開始は十月十日からだ、合宿後の此の五十日の余裕を充分に活用せよ＝中間試験と言う国立大学特有のハンデを克服する工夫をしながら＝合宿で遣り残した部分を向上せしめ、万全の態勢でリーグ戦開幕に臨んでもらい度い。

この間に、どうしても体得して欲しいことは、「新ルールに対する理解と、その活用」です。内容は色々ありますが神大にとって特に重要なのは次の二点かと考えます。

(1) “フォワードの深いフォローとバックアップこそ必要だ”

従来のように、浅い動きでモール・ラックへ横から入っていても、オフサイド連発は勿論の事、現在のチームにとって一番恐い、相手モールの動きを止められない、ことが明らかです。

(2) “ペナルティ直後の動作をもっと素早く”

現状のBリーグではペナルティからトライチャンスになる事が非常に多いから、攻防共ペナルティの笛が鳴った途端に最適な位置どりへ走る指示と意欲を持って、攻撃における素早いサイン出しとそれに対応できる動きの徹底。防御における、状況を良く読んでのポジショニング、これらの反復練習がBリーグでは、より多くのトライを獲れるか、取らせないか、の分岐に為るのです。

以上の如き感想と考え方を、昨年迄の一次合宿への参加体験をも踏まえた上で披瀝します。勿論種々異論はあろうかと思いますが、現役諸君のプレイ向上の為の一助にもなれば、と思ひ原稿を彼等にも渡してありますので、彼等がリーグ戦で如何に具現し、戦い抜いてくれるかが楽しみです。

現役諸君のリーグ戦での健闘をいのります。

現役合宿参加手記

S 63 卒 福 田 昌 玄

今回2年振りに、参加して来ました。一日半という短い時間でしたが、私なりに感じた事を列挙してみますと、

*技術レベル・ハンドリング等については、私達の現役当時と比べ格段にハイレベルだ。

*合理的な練習を行なっている。

*一本目・二本目のレベル差が大きい。

*各チーム(1～4本目)におけるリーダーが誰なのか、外から見ていると分からない。

*プレーの合間の、ポイントからポイントへの移動が遅い(試合で後手をふむ悪因)。等です。

今年もF.Wsが小型で、F.Ws戦での劣勢が予想されますが、B.Ksは「F.Ws次第ですわ!」なんて言わずに、一頃の早稲田大学の“アタック”じゃないが、B.KsとしてF.Wsをサポートすること＝B.Ksとしてのボール獲得・キープの方法等も考えてほしい。

少し辛口になりましたが、お許しを願って。

私自身はいまだに商社リーグ等でラグビーを楽しんではいますが、もう学生時代のように緊迫感に打ち震えるような場面は次第に遠ざかりつつある一抹のさびしさをも感じているので、今・緊迫感のあるハイレベルなラグビーに身を置いている後輩諸君を非常にウラヤマシク思っているのです。だから熱心な年輩O.Bに負けたい思いを込めて「今しかないんやから、ガンバレ!」と言ひ度いのです。